

### 土曜窓口・自動交付機お休みのお知らせ

10月3日(土)の市民課土曜窓口、10月4日(日)・5日(月)の自動交付機は、運用保守のためお休みします。  
ご迷惑をおかけしますが、ご協力をお願いします。  
問合せ 市民課住民係 ☎ 497・2037

### 声のたよりの利用を

視覚障害者の方や高齢などの理由で、市報などを読むのが困難な方向けに、それらを音訳した「声のたよりのCDを無料でお届けしています。清瀬市のさまざまな情報を入手できるCDを、ぜひご利用ください。  
問合せ 秘書広報課広報広聴係 ☎ 497・1808

## 3本の木とともに

「あっ！市長さん、今、市長さんの話をしていたのよ」「若いからまだね、とほめていたんだ」。偶然通りかかって、ひまわりを見物していた松本さんとひまわり畑農家の新井さんが話しかけてくれました。とてもうれしい瞬間でした。

「人生の旅の途中には大事な人との出会いが必ず待っていてくれる。だから、一寸先が闇の道でも夢や希望を失うことなく歩いていくことができるのさ。平成4年初春 金太郎君の為 教之書く」  
かつて、池上本門寺の坊さんが書き初めしてくれたのです。そんなこともあって、生きる喜びは人と人との出会いのなかにあると思うようになったのでしょうか。

## 平成27年度清瀬シニアカレッジ(後期) 参加者募集

対象 市内在住・在勤で55歳以上のシニアの方  
定員・日時・内容など 下表のとおり(応募者多数の場合抽選。結果は10月20日(火)までに発送予定)  
場所 生涯学習センター  
申込み 9月30日(消印有効)までに、1人に付き1枚の往復はがきに左記載例のとおり記入し、生涯学習スポーツ課 ☎ 495・7001へ

講座番号・講座名	日時	内容など
①真田幸村はどんな人だったか	11月5日・19日・26日の木曜日午後2時～4時(全3回)	2016年の大河ドラマの主人公について学びます。最終回は当時の総決算として「お江の時代」。 定員 60人 講師 山岡昭氏
②歌声喫茶	12月2日・16日・平成28年1月6日・20日の水曜日午後2時～4時(全4回)	当時の歌を皆で楽しく歌います。 定員 120人 講師 島袋良彦氏 費用 1回50円(お茶代・当日集金)
③おりがみ	12月11日・18日、平成28年1月8日・15日の金曜日午後2時～4時(全4回)	季節にちなんで、基本から応用まで。 定員 33人 講師 石井静子氏 費用 500円(4回分・事前集金)
④人生の整理を考える	平成28年1月12日・19日の火曜日午後2時～4時(全2回)	相続税・贈与税や遺言書の書き方を学ぶ。 定員 55人 講師 金融広報アドバイザー 中島典子氏
⑤落語講座	平成28年2月12日・19日・26日、3月4日の金曜日午後2時～4時(全4回)	座学や稽古で落語について学ぶ。落語鑑賞も。最終回は「清瀬寄席」を開催! 人前で演じよう。 定員 50人 講師 社会人落語家・三遊亭圓塾 平井幸雄氏
⑥家系図作成講座	平成28年1月31日、2月14日・21日、3月6日の日曜日午後2時～4時(全4回)	家系図の作り方、戸籍以上の先祖調査方法、姓氏・家紋について学ぶ。 定員 40人 講師 行政書士・姓氏研究家 萩本勝紀氏

本当に出会いが出会いを呼び、思ってもいなかったことを生み出してくれます。実は約2年前に奈良県斑鳩町から突然来客がありました。大叔父の孫娘にあたるKさんでした。「これからは私たちが中里のお墓参りにきます」ということで「へーっ! 奈良県に親戚があったのか?」と驚きました。

今年も6月に来られたので、夫婦同士夕食を共にしました。宴は盛り上がり、誇りある清瀬話をたづねたりしました。そしたら何と! 帰ってから間もなくしてメールが来て、「法隆寺の大野管長が清瀬市長の話を聞きたいとのことなんです」とのことでした! えっ、法隆寺の管長が? 実はびっくりしたことにお話のKさんは管長さんと親しい間柄だったのです。これは大変もったいないことだと思い、7月24日に法隆寺に行ってきました。そして、「太子の

未裔の文室秋津が833年に悲田処を清瀬野塩に開設した可能性が高いこと、その流れが昭和6年に東京府知事の要請により亡国病と極めて恐れられた結核病院を開設し、今では結核研究所、BCG研究所が結核から世界を守っていること、清瀬には日本社会事業大学があり聖徳太子についての講義があること、そして太子の教えを実践する上宮会の特養老人ホームには、上宮太子(聖徳太子の別称)像があること」などなど、2時間ほど会談させていただきました。日本の世界遺産第1号である法隆寺の管長に清瀬で講話をお願いしたところ、ありがたいことに来てくださるとのことでした。  
人生は出会いです。皆さん、楽しみにしてください。  
清瀬市長 渋谷金太郎

## まちかどニュース

身近なイベントや、まちかどの話題を皆さんから募集しています。

### 清瀬の自然を守る会が「東京都公園協会賞」を受賞

6月21日、市内の保全地域などの自然を守り管理作業などの活動を行っている「清瀬の自然を守る会」が、「東京都公園協会賞」を受賞しました。  
この賞は、東京を緑豊かな都市にするため、「緑と水」の普及啓発に協力した市民などから、技術・論文・実施記録及び報告・ボランティア活動の4部門で作品を公募し、優れたものを表彰するものです。  
清瀬の自然を守る会は、『河畔林の保全活動を続けて～「水と緑」の間で～』が、40年間続けた先進的な活動で優れたものと高く評価され、ボランティア部門で奨励賞を受賞しました。



自然を守る会会長の富田さん(左)と渡邊さん

### 「清瀬カップ高校女子サッカー大会(清瀬市長杯)」を開催

8月18日・19日、十文字学園女子大学(埼玉県新座市菅沢二丁目)及び下宿第三運動公園サッカー場などを会場に、「第1回清瀬カップ高校女子サッカー大会(清瀬市長杯) in 十文字」が行われました。  
この大会は、清瀬地域を女性スポーツの中心として発展させるとともに、女子サッカーの健全なる普及に広く寄与し、高校女子サッカーチームの交流を深めることを目的としています。当日は、多数の強豪チームが集まり熱戦が繰り広げられ、渋谷市長は、「市では、十文字学園女子大学・同短期大学部と相互協力協定を締結しており、これを機に清瀬市を女子サッカーのまちとしてもアピールし、大会をいづれは大きいものにしたい」との言葉を述べました。



ボールを奪い合う選手たち

## 清瀬 こども俳句

市内小・中学生の俳句を紹介し、ぜひ応募ください。  
選評 石田波郷俳句大会実行委員会

●かぶと虫メスのとりあいはげしいな  
(評) かぶと虫は夏の昆虫の代表選手で、清瀬の子ども俳句でもたくさん作品になりました。ほとんどがその姿や力強さと捉えたもの。こんなふうに俳句にしたのは初めてかな。俳句は発見が第一です。  
水久保 終斗

●山のぼりつかれたあとの氷水  
(評) 四季鮮やかな日本の季節感をまとめたものが俳句の季節で、その季節の持っている「感じ」がどう伝わるのかが俳句のいのち。この句は、上五中七によって下五の季節の気持ち良さを見事に表現。  
藤原 心温

●たなばたの夜はいつもとちがうよね  
(評) 「七夕」は日本の「たなばたつめ」信仰と中国の牽牛・織女の「星祭」の風習が合体した行事。旧暦ベースで秋の季節。この句は願いの夜の特別感を素直に捉えて成功しました。うん、確かにね。  
平山 大

●流星群願い事乗せどこへゆく  
(評) 流星、流れ星は秋の季節。消えるまでに願い事をすれば・・・ということ、多くの人の多くの願いを乗せた流星群。でも消えた後はどこへ行くの、という作者の一種のユーモアセンスに一票。  
角谷 麟太郎

※今回の俳句は、清明小(5年生)で行った「出前俳句教室」からの選句です。

「まちかどニュース」「がんばりすと」への投稿を募集しています。  
応募方法 1日号・15日号ともに掲載希望号の1か月前(いずれも必着)までに、写真(データが望ましい)に説明(いずれも150字程度)を添えて、住所・氏名・電話番号を記入し、直接または郵送、メールで秘書広報課広報広聴係 ☎ 497・1808へ

日本年金機構の個人情報流出について、年金事務所や市から本人宛てに電話することはありません。年金事務所や市職員を名乗る電話にはご注意ください!